

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	気候変動への適応策検討経費		担当部局庁	水管理・国土保全局 水資源部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～		担当課室	水資源計画課		課長 海野 修司	
会計区分	一般会計		政策・施策名	2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現 6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、少雨化や降水量の変動幅の増大、少雪化が進行し、全国各地で渇水が発生しており、将来、温暖化によりさらに深刻化する可能性があること、そのため政府全体での統一的な温暖化とその影響の予測・評価の実施、それに基づく長期的な見通しを持った、総合的な取り組みが求められていることから、本調査の成果を政府全体としての適応策のとりまとめに反映する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地球温暖化に伴う気候変動による水資源への影響として、気候モデルによる将来の降水量、無降雨日数、気温等を基に、深刻な渇水によるリスクを定量的に試算・分析する。気候変動に伴う渇水リスクの増大に対し、短・中・長期にわたる水循環への影響を踏まえた、段階的に実施可能な適応策のリストを作成する。あわせて、実施のためのガイドラインを策定する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				13	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					13	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	検討中	成果実績					
		達成度					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	検討中	活動実績 (当初見込み)					-
単位当たりコスト	検討中	(円/)	算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	-	0.2				
	委員等旅費	-	0.1				
	職員旅費	-	0.3				
	水資源対策調査費	-	13				
	計	-	13				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	適切なものである		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・「日本の気候変動とその影響(2012年度版)」で少雨化や降水量の変動幅の増大、少雪化の進行、渇水リスクの増大等が予測されていることから、国としてその影響を予測・分析するとともに、その影響を踏まえた渇水に対する被害軽減方策を検討する必要がある。</p> <p>・中央環境審議会地球環境部会報告「2013年以降の対策施策に関する報告書(地球温暖化対策の選択肢の原案について)」(平成24年6月)では、国レベルの適応の取組として、政府全体の適応計画を策定することとなり、平成25年7月に開催された中央環境審議会地球環境部会において、平成27年度夏頃を目途に適応計画を閣議決定することとなっていることから、国が本事業を実施する必要がある。</p>					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	<p>昨今の気候変動を踏まえて今後の洪水・渇水対策のあり方を検討することは、国民生活の安全・安心の確保の観点から優先度の高い事業であり、調査結果を広く国民に周知するとともに、調査結果を実際の事業に活用するなど、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
〇〇百万円

各業務の発注
及び監督



【企画競争入札】

A. 民間企業
〇〇百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	健全な水循環系構築に関する調査経費		担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～		担当課室	水資源計画課		海野 修司		
会計区分	一般会計		政策・施策名	2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現 6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	将来にわたり水を持続的に活用できる社会を実現するため、健全な水循環系を構築するべく、健全な水循環に関する基本政策の企画・立案に資する調査検討を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	流域における健全な水循環系の構築の先進事例の分析・推進策の検討を行うとともに、健全な水循環系構築に関する技術の活用等の検討、健全な水循環系の構築に関する活動促進のための普及・啓発活動に関する検討を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					70	
	執行額						70	
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	検討中			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	検討中					()	()	()
単位当たりコスト	検討中 (円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	-	2.5	「新しい日本のための優先課題推進枠」70				
	職員旅費	-	0.5					
	委員等旅費	-	5.6					
	水資源対策調査費	-	61					
計	-	70						

項目							評価	評価に関する説明
必要投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。						○	適切なものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。						○	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。						○	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。						-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。						-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。						-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)						-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。						-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。						-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。						-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)						-	
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 水は循環する過程において、産業や文化の発展に重要な役割を果たしてきており、健全な水循環系の構築を目的とする本事業は、極めて公益性が高い。 健全な水循環系に関する基本政策の企画・立案は、公益性が高く、専門的知見や技術の観点から、国が技術的な検討等を実施し、地方公共団体を先導することが効果的であり、政府の関与は不可欠である。 							
外部有識者の所見								
-								
行政事業レビュー推進チームの所見								
-	調査結果を実際の事業に活用するなど、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況								
-	-							
備考								
-								
関連する過去のレビューシートの事業番号								
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-		

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
〇〇百万円

各業務の発注
及び監督



【企画競争入札】

A. 民間企業
〇〇百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					